

| | | | |
|---------------|--|-----------------|------------------|
| 授業科目名 | 保健体育実技 | 担当教員名 | 安井 嘉佑 |
| 必修/選択 | (/社会福祉主事任用資格) | 開講学年・学期 | 1年 前期 (年間開講数 講座) |
| 科目区分 | その他の資格取得科目 | 単位数 | 1単位 |
| 施行規則に定める科目区分等 | | 授業方法/担当形態 | / |
| | | 特記事項 | ※「体育実技」の指導内容を含む |
| 授業の到達目標 | 自ら体験実施することで、体育の楽しさや達成感を味わい子どもの指導につなげる。 (1)利用者及び社会福祉事業従事者の保健の意義について理解する。 (2)レクリエーション活動の社会的意義を理解する。 (3)体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 (4)体育指導及びレクリエーション活動援助を実技を通じて計画作成能力・実技能力を習得向上させる。 (1)利用者及び社会福祉事業従事者の保健の意義について理解する。 (2)レクリエーション活動の社会的意義を理解する。 (3)体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 (4)体育指導及びレクリエーション活動援助を実技を通じて計画作成能力・実技能力を習得向上させる。 | | |
| 授業の概要 | 必要な基礎体力を養い、運動の各種の動きを実際に行うことにより自身の体力向上を目的とし、同時に子どもの指導に繋がる様に体得していく。 | | |
| テキスト | 使用しない | | |
| 参考書・参考資料等 | 「体育指導の基本」Q&A | | |
| 成績評価の方法 | 授業参加態度等…10%、平常点…20%、理解度試験等…20%、定期試験（実技）…50% | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | 到達目標番号 | |
| 第1回 | 授業内容の説明。体育(指導)のあり方と接し方 | | |
| 第2回 | 体操・柔軟、縄跳び(前跳び・後ろ跳び)、スキップ(バックスキップ・ツーステップ) | (1) | |
| 第3回 | 体操・柔軟、スキップ指導法・バックスキップ指導法・ツーステップ指導法、大縄跳び(8の字とび・全員跳び) | (1),(2),(3),(4) | |
| 第4回 | 体操(ラジオ体操)・柔軟、大縄跳び(ダブルタッチ・ダブルタッチ指導法) | (1),(2),(3),(4) | |
| 第5回 | 体操・柔軟、球技(バスケットボール・正式ルール・ドリブル・シュート等) | (2),(4) | |
| 第6回 | 体操・柔軟、バスケットボール(基礎ルール)、子ども用ルールで(ポートボール)実施等 | (2),(3),(4) | |
| 第7回 | バドミントン(正式・ルール・サーブ・ラリー・ケーム等) | (2),(4) | |
| 第8回 | バドミントン(基礎・ルール・子ども用ルールで実施) | (2),(3),(4) | |
| 第9回 | ボール遊び：ドッチボール(正式ルール・子ども用ルールで実施) | (2),(4) | |
| 第10回 | ボール遊び、ボールを使った遊び | (2),(3),(4) | |
| 第11回 | バレーボール：正式、ルール・トス・サーブ・ゲーム等 | (2),(4) | |
| 第12回 | バレーボール：基礎ルールでゲーム、子ども用ルールを変えてゲーム実施 | (2),(3),(4) | |
| 第13回 | ニュースポーツ：キャッチング・ザ・スティック、ヒートロープ | (2),(4) | |
| 第14回 | 実技発表の説明。総合復習(指導法・安全配慮) | | |
| 第15回 | 実技発表(課題:スキップ・バックスキップ・ツーステップ、縄跳び(前跳び・後ろ跳び・二重跳び)、バスケット(ドリブル・シュート)、バレーボール(サーブ・パス)、ニュースポーツの考案) | | |
| 定期試験 | 実技試験 | | |